健康は水泳から

大渡、六俣に温水プール

来年の完成目指し着工

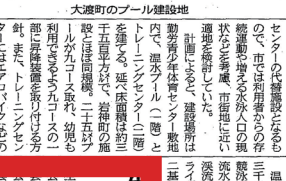
前橋市

前橋市は十四日までに、市民の一層の健康増進を図るため、トレーニングセンターなどを併設した温水プールを同市大渡町と六供町の二カ所で建設し、管理する。懸に隣の水泳愛好者などから要望に沿った措置で、競州からレジャー型までのプルシーズン利用できる自前プールとなる。同プールとも来年夏ごろから秋にかけて順次オープンする予定で、水泳全面しての体力つくりが一段と加速しそうだ。

大渡町のプール建設地

クセンター」（仮称）。同市「温泉プール・トレーニング」岩神町の市営公園プレハブ工事を完了、工費は約十三億円で、営は市体育振興公社が当る。同四月上旬から稼働する来年十月にオープンする予定。また、同温水プールに併設して建てられるコミュニティクラブ（三階建て、広さ九百三十坪方紙）は、地域の集会議室、和室などが設けられ、同施設の総工費は約十七億円。

同市は既設の温水プールが総合運動公園内にあり、今度の温水プール建設で一挙に三施設となる。同市に同じ規模の都市で、これだけ温水プールが整備されているケースはないという。



建設場所は勤労青少年体育センター敷地内で、温水プール（一階）とトレーニングセンター（二階）を建てる。延べ床面積は約三千五百平方メートル。岩神町の施設ほぼ同規模。二十五メートル公式コースの温水プールは、幼児を利用できるよう九コースの部に昇降装置を取り付ける方式。また、トレーニングセンターにはエアロバイクなどの各種トレーニング器具を備えるなど、毎年春に日本橋、三越で開催されているが、新宿では初めて、十九日までの期間中の売り上げ目標は八千万円。会場には全県を代表する特産品の出展が予定されている。

「高級イメージを高めるため、初めて高価なものを展示した」と関係者。また、岩組しの鬼の置物、はにわ、

都心で上州PR

「観光と物産展」始まる

東京・新宿

"里帰の感覚とロマン上州"をテーマにした「群馬の観光と物産展」（県、県観光振興協会など主催）が十四日から、東京・新宿の京王百貨店で始まった。キャベツ、ネギ、キノコといった農産物や焼きまんじゅう、うどん、みそなどの県の特産物が勢ぞろい。こけし、竹細工、機織りの実演も行い、買い物客中心の主婦たちの人気を集めている。

首都圏に展開中の上州PR活動の一環。群馬県は、三越、伊勢丹、高島屋の百貨店